

妨げなく主の恵みを受け取るために

使徒の働き5章1～11節他

聖霊を欺く偽善の罪

もくじ

I. 誕生間もない教会で 使徒2～4章

II. アナニアとサツピラの罪

使徒5章1～11節

III. アナニアとサツピラの罪の本質

IV. 聖書が記す偽善と罪

V. まとめと適用

妨げなく、

主の恵みを受け取るために





Ⅰ. 誕生間もない教会で

使徒2～4章

昔のエルサレム神殿



- イエスは、十字架で死んで、葬られ、復活し、天に昇られた。
「行って、すべての人を私の弟子に
しなさい。」
- それが、主イエスの弟子たちへの
地上最後の命令だった。

イエスの昇天

- 弟子たちは、エルサレムにいて
約束された**聖霊**をまって祈っていた。



聖霊降臨

使徒の働き 2章

- それから10日後、エルサレムで祈っていた使徒たちに**聖霊**がくださった。
- 使徒たちは世界中の言葉で話し出した。各国から集っていた巡礼者たちは、驚き、騒ぎ出した。
- ペテロは、立ち上がって人々につげた。「あなたがたが十字架で殺したイエスが、メシアなのです」



教会の誕生

使徒の働き 2章

- 「メシアは、あなたの罪のために十字架で死んで復活された。悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマをうけなさい。」
 - 3千人の人が悔い改め、イエスさまを信じて、バプテスマをうけた。
- こうして**教会**が生まれた。**教会**とは、イエスをメシアと信じた人々のこと。



日々、信じる者が起こされ、教会は成長

バルナバの献金

使徒の働き4章

- イエスを信じた人は、同胞のユダヤ人から仲間外れにされ、仕事もできなくなった。
- 信者たちは、持ち物やお金を、みんなでわかちあって生活していた。
- 家や土地を売って、お金をもってくる人もいた。集めたお金は、必要なぶんだけ、一人一人に分けられた。



分かち合う教会

使徒の働き 2 章

■使徒たちに「なぐさめの子」とよばれていたバルナバは、キプロス島生まれの
離散のユダヤ人(ディアスポラ)だった。

■バルナバは、所有していた畑を売り、
全額を教会にささげた。

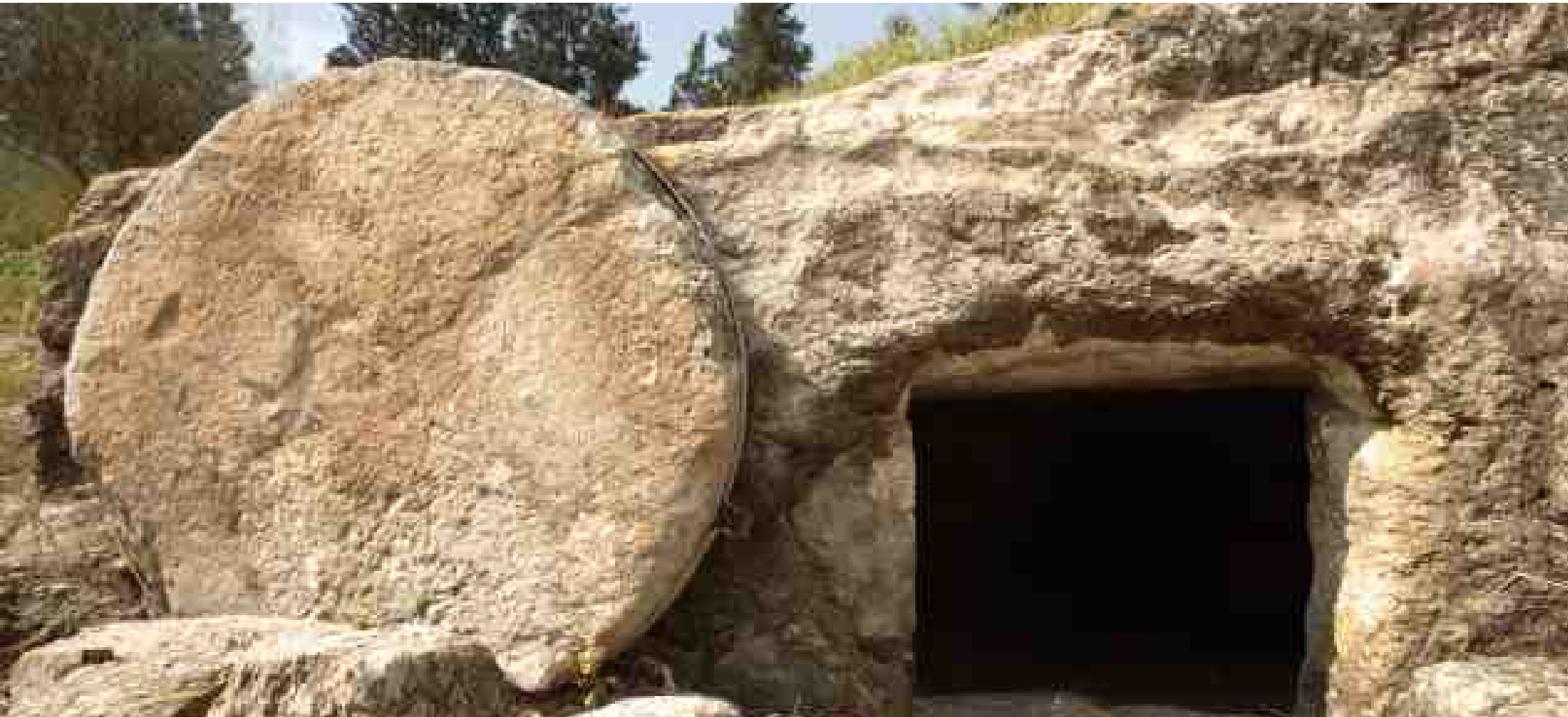
■バルナバは、主に用いられ、皆に信頼される
リーダーになっていった。➡後には使徒に



■使徒の働き2:44～47

信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。



II. アナニアとサツピラの罪

使徒 5 章1～11節

エルサレムの墓

共謀 偽りの献金 使徒5:1~2

ところが、アナニアという人は、妻のサツピラとともに土地を売り、妻も承知のうえで*、代金の一部を自分のために取っておき、一部だけを持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

* 夫妻で共謀。共犯関係。

■ 明確な目的をもって、計画的に実行された罪

➔ 出来心ではない!!

■ 自己顕示欲？ 名誉欲？ 権力欲？

バルナバのような神の権威を欲した

➔ 本質は、神の権威に対する反抗



裁き 聖霊を欺く罪 使徒5:3~4

すると、ペテロは言った。「アナニア。なぜあなたはサタンに心を奪われて聖霊を欺き*、地所の代金の一部を自分のために取っておいたのか。

売らないでおけば、あなたのものであり、売った後でも、あなたの自由になったではないか。どうして、このようなことを企んだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いた*のだ」

*父なる神と聖霊を欺く罪

■ユダの罪に気づかなかったペテロが、アナニアの罪を見抜いている。



これが聖霊の力!!

裁き 神の裁き 使徒5:5~6

このことばを聞くと、アナニアは倒れて息が絶えた*。これを聞いたすべての人たちに、大きな恐れが生じた。

若者たちは立ち上がって彼のからだを包み、運び出して葬った。

*主が直接、裁きを下し、命を絶った

➔荒野でのコラの罪(民16:1)が匹敵! ?

他に類を見ない厳しい裁きが即下った



裁き サツピラへの問い 使徒5:7~8

さて、三時間*ほどたって、アナニアの妻*がこの出来事を知らずに入って来た。

ペテロは彼女に言った。「あなたがたは地所をこの値段で売ったのか。私に言いなさい*」
彼女は「はい、その値段です」と言った。

*時間差の訪問も示し合わせていた?!

*「妻」 …家長のアナニアの罪の方が重い

➡サツピラには、最後のチャンスが!!

*「本当にそうなのか。正直に言いなさい」

➡悔い改めれば、赦された



裁き 聖霊への欺き 使徒5:9

そこでペテロは彼女に言った。「なぜあなたがたは、心を合わせて主の御霊を試みた*のか。見なさい。あなたの夫を葬った人たちの足が戸口まで来ている。彼らがあなただを運び出すことになる。」

*アナニアとサツピラの犯した罪

➡共謀して聖霊を欺いた!!



裁き サツピラの死 使徒5:10~11

すると、即座に彼女はペテロの足もとに倒れて、息絶えた。入って来た若者たちは、彼女が死んでいるのを見て運び出し、夫のそばに葬った。

そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちに、大きな**恐れ***が生じた。

***主への恐れが知恵の始まり(箴言1:7他)**

■教会の人々は、神を恐れ、信仰を深めた。

➔教会のさらなる成長へ





III. アナニアとサツピラの罪の本質

アナニアとサツピラが行ったこと

アナニアとサツピラは、共謀し、「土地を売ったお金を全部ささげます」と、嘘をつき、一部を自分たちのために残しておいた。

このことの何が問題なのか？



アナニアとサツピラの罪状と裁き

【罪状】 …サタンに心を奪われて
聖霊を欺き、神を欺いた。

【裁き】 …主に直接、命を絶たれた。

【原則】 …義なる神の裁きは正しい
異議を唱える余地はない

嘘をついたら裁かれる?! あまりに厳しいのでは?



アナニアとサツピラは、なぜ厳しく裁かれたのか？

- ① 出生間もない赤ん坊が、免役という力で不思議に守られてるように、主は、黎明期の教会を特別に守られた。
- ② 激しく臨在される聖霊の働きのただ中で、聖霊を欺いたために、裁きも厳しくなった。

この時代だったからこそその厳しい裁き



考えられるもう一つの理由

■主に直接裁かれ、命を絶たれた例はまれ。

例) 荒野でのコラの裁き(民16:1)

■聖霊を欺くことは、

それ自体、重い罪だった?!





IV. 聖書が記す 嘘と偽善

四つの嘘

- ① 主に従うために、悪を欺く嘘
- ② 自己保身のためのとっさの嘘
- ③ 敵を陥れるための裁判の偽証
- ④ 信仰を装う偽善・聖霊を欺く嘘

四つの嘘 ①悪を欺く嘘

①ファラオの命令に背き、ヘブル人の赤ん坊を救った助産婦たち
(出1:15～)

②イスラエルの斥候をかくまった、エリコの遊女ラハブ
(ヨシュア2章)

■共通項 → **人の命とイスラエルの存亡**がかかっていた

■適用 → ナチスからユダヤ人をかくまった人々

例外的に容認された嘘

四つの嘘 ②自己保身のとっさの嘘

「ペテロは、『鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います』と言われたイエスのことばを思い出した。そして、外に出て行って激しく泣いた。 マタイ26:75」

- 使徒のリーダーであるペテロですら、ついた嘘。
- ペテロは、悔い改めて赦された。

「私を愛するか」 メシアによる回復、新たな使命への召命

誰もが犯すが、悔い改めれば赦される

四つの嘘 ③裁判の偽証

「あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。出20:16」

「あなたがたは、彼がその同胞にしようとして企んでいたとおりに彼に対して行い、あなたがたの中からその悪い者を除き去りなさい。」

申命記19:18

例) モルデカイのために用意した柱にかけられたハマーン

■主イエスも、偽証を悪行の一つに数えられた。(マタイ15:19)

四つの嘘 ④聖霊を欺く嘘 偽善

■ 信仰を装った、信仰上の嘘。形ばかりの宗教的行為。

例) 世の評価のための施し、祈り、きよめ、誓い、断食、献金

■ 世の法では裁かれない。律法にも規定はない。

➔ 主イエスは、偽善を最も厳しく非難。主が裁かれる。

■ 悔い改めのない偽善者は、信仰者を迫害。

➔ 最後には、主による厳しい裁きが待っている。

偽善者への主イエスの宣告 マタイ23:33~36

蛇よ、まむしの子孫よ。おまえたちは、ゲヘナの刑罰をどうして逃れることができるだろうか。

だから、見よ、わたしは預言者、知者、律法学者を遣わすが、おまえたちはそのうちのある者を殺し、十字架につけ、またある者を会堂でむち打ち、町から町へと迫害して回る。

それは、義人アベルの血から、神殿と祭壇の間でおまえたちが殺した、バラキヤの子ザカリヤの血まで、地上で流される正しい人の血が、すべておまえたちに降りかかるようになるためだ。

まことに、おまえたちに言う。これらの報いはすべて、**この時代**の上に降りかかる。

聖霊を冒瀆する罪

■ 主イエスが指摘された、最も重い罪

「しかし**聖霊を冒瀆**する者は、だれも永遠に赦されず、永遠の罪に定められます。マルコ3:29」

■ 目前のメシアを拒絶したイスラエルの宗教指導者への言葉

➔ 「イエスは汚れた霊につかわれている」 **聖霊を悪霊呼ばわり**

■ メシアを拒み、弟子を迫害した結果 ➔ エルサレム陥落(70年)

エルサレム陥落の預言

マタイ23:37~39

エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者よ。わたしは何度、めんどりがひなを翼の下に集めるように、おまえの子らを集めようとしたことか。それなのに、おまえたちはそれを望まなかった。

見よ。おまえたちの家は、荒れ果てたまま見捨てられる。

わたしはおまえたちに言う。今から後、『祝福あれ、主の御名によって来られる方に』とおまえたちが言う時が来るまで、決しておまえたちがわたしを見ることはない。」

「聖霊を冒瀆する罪」の結末

- ①エルサレムは滅ぼされ、神殿は破壊
- ②長い流浪の期間
- ③イスラエルへの最終的裁き・大患難時代
- ④民族的回心、メシアの再臨
- ⑤神の王国 祭司の民として永遠に王なる主に仕えるイスラエル

四つの嘘の背後にあるもの

①主に従うために、悪を欺く嘘

②自己保身のためのとっさの嘘

③敵を陥れるための裁判の偽証

④信仰を装う偽善・聖霊を欺く嘘

偽りの父・サタン

偽りの父 サタン

■ 偽善者への主イエスの宣告

「あなたがたは、悪魔である父から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと思っています。悪魔は初めから人殺しで、真理に立っていません。彼のうちには真理がないからです。悪魔は、偽りを言うとき、自分の本性から話します。なぜなら彼は偽り者、また**偽りの父**だからです。ヨハネ8:44」

■ 神になろうとして地上に落とされたサタンは、

偽りで人間を墮落させ、滅びに至らせようと働きかけている。

史上最悪の偽善者 ユダ

- 最後の晩餐で主イエスが、この中に裏切り者がいると宣告。
ユダを疑った者はなし。その正体に気づいた者はいなかった。
- 会計の不正から始まり、イエスを売ると決めた時サタンが入る。
儀式的赦しを祭司に拒まれると当てつけのように自殺。
- 遺体が投げ捨てられたヒンノムは、火の池、ゲヘナを象徴。
永遠の滅びが明記された唯一の人物。



V. まとめと適用

妨げなく、主の恵みを受け取るために

聖書が教える罪

- 「嘘をつきなさい」と教えられてもいないのに、嘘をつく
→ 突きつけられるのは、私たちにある罪の本質
- 嘘はダメだと人は知っている。嘘を裁く法もある。
聖書も厳しく嘘を禁じている。
- 聖書の例外は、人の命、イスラエルの存亡がかかった極限状況
- 最も重い嘘は、宗教的偽善だが、偽善を裁く法はない。
→ 聖霊を欺く罪は、主ご自身が裁きをくだされる。

偽善の罪の本質

- まったく必要がない嘘。つかなくても不利益を被らない。
- 人の欲望から生じる嘘
 - …自己顕示欲、権力欲、名誉欲、支配欲
- 「神の権威を手に入れたい」「神のようになりたい」
 - 根源的な罪の欲望が背後に!!
- 背後に働くのは、偽りの父である悪魔・サタン

偽善は、聖霊を欺き、神を欺く罪である

偽善の罪がもたらすもの

- 口伝律法という宗教的偽善により、イスラエルはメシアを拒絶
→ **この時代への裁き** エルサレム陥落 長い流浪
- ユダ、アナニア、サツピラは、**主の裁き**を招いた
(※アナニア、サツピラの死後の運命は分からない)
→ 偽善に陥れば、主の家族とは歩めなくなり、裁きに至る
- 偽善が、神の民・**イスラエルを破壊**
アナニアの偽善を放置すれば、誕生間もない**教会も破壊**

偽善は、私たちの信仰を破壊する最悪のもの

偽善に陥らないために

- **信仰と恵みによる救い**を、いつでも確認しよう
 - ➔ ただ福音を信じて、永遠に神の怒りから救われた
- 信仰の成長、**聖化の過程**にいることを自覚しよう
 - ➔ 罪も失敗もある。自分自身との罪との戦いは続いている。
- ペテロや聖徒たちの歩みに学ぼう
 - ➔ 彼らも罪を犯したが、必ず、**主に向かって悔い改めた**
 - ➔ 不格好な姿をさらすペテロを、聖書は信仰者と記す。

不格好でかまわない。求められるのは、主への信頼だけ。

偽善から主にある交わりを守るために

- 偽善者の嘘は、言葉で見分けられるものではない。
 - ➔ 演技に長けた偽善者は、リアルな嘘で他者を魅了する
- 主イエスの忠告は、「実によって見分けなさい(マタイ7:20)」
 - ➔ 具体的な行動によって偽善を見分けることができる
 - 「小さい者(=見返りのない相手)」に対する態度が重要
- 顔と顔を合わせ、時に戒めある関係性を互いに築いていこう
 - ➔ 嘘やごまかしの通用しない、家族と呼べる交わりを

その交わりは、愛の実を結んでいるのか？

★ 妨げなく主の恵みを受け取るために ★

- 何よりの救いの証しは、罪を認めて悔い改められること。
永遠の救いの保証があるから、**聖化の過程**を安心して歩める。
- 本来、肉の家族以上に、ごまかしが効かないのが主の家族。
神の目に、私のすべては筒抜けだ。
不格好でいい、**主と主の家族に、誠実に、率直**であろう。
- 他者と比べる必要はない、主が私を見ていてくださる。
主が用意された報酬を楽しみに、**与えられた使命**に励もう。

主が注がれる恵みを浴びて、喜びと感謝をもって日々を歩もう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

すく えいえん けつ と さ
この救いは、永遠です。決して取り去られることはありません。

つみ おか く あらた しゅ ゆる
たとえ罪を犯しても、悔い改めれば、主が赦してくださいます。

ぶかっこう しゅ しゅ かぞく せいじつ ねが
不格好でも、主と主の家族に、誠実でありたいと願います。

わたし みちび せいれい しんらい しゅ したが あゆ
私を導いてくださる、ご聖霊に信頼して、主に従い歩みます。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」